

令和7年度活動報告について

(1) 会員への情報提供及び情報交換

ア 方針

- 会員相互の情報交換を促進するため、交流の場を設ける。
- 他のネットワーク組織やインキュベーション施設、公設試験研究機関、千葉県等との連携を強化し、相補的・発展的な活動展開を図る。
- 県の産業振興策をはじめ、国の政策や AMED、NEDO 等の事業に関する情報収集を行い、会員へ情報提供する。

イ 具体的な取組

(7) 総会（事例報告会と同時開催）

日 時：令和7年6月18日（水）13:00～13:30
会 場：ペリエホール
内 容：令和6年度事業報告、令和7年度事業方針（案）について

(4) 事例報告会

日 時：令和7年6月18日（水）13:30～15:55
会 場：ペリエホール
参 加 者：67名
テ ー マ：蛋白質大規模分析の最先端技術とその社会実装に向けて
内 容：
・超高感度リン酸化シグナル解析を用いた胃がんプロテオゲノム研究
ー臨床に与えるインパクト
（医薬基盤・健康・栄養研究所 創薬標的プロテオミクスプロジェクト
プロジェクトリーダー 足立 淳 氏）
・血液プロテオーム解析システムの開発とその診断実装に向けた取り組み
（（公財）かずさ DNA 研究所 ゲノム事業推進部
応用プロテオミクスグループ グループ長 川島 祐介 氏）
・非侵襲的に採取可能な「便」を用いたプロテオミクスの最先端臨床研究」
（北里大学 医学部 一般・小児・肝胆膵外科 講師
東京大学医学部 小児外科 届出研究員
渡辺 栄一郎 氏）

(ウ) セミナー

日 時：令和7年10月20日（月）13:30～17:00
会 場：ペリエホール
参 加 者：48名
テ ー マ：バイオものづくりセミナー
～発酵から新たなバイオものづくり産業へ～

内 容：

① 講演

- ・ひそかに活躍する微生物が作るあれこれ
(キッコーマンバイオケミファ(株) 取締役 五味 恵子 氏)
- ・微生物発酵による未利用バイオマスのアップサイクル実用化への挑戦
～発酵産物データベースの大規模プラットフォーム化事業の開始～
(株)ファーマンステーション 事業責任者 隠岐 勝幸 氏)
- ・バイオものづくりのプラットフォームを目指して
(Green Earth Institute(株) 代表取締役 CEO 伊原 智人 氏)

② 官公庁等の取組紹介

- ・独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE) の取組紹介
- ・千葉県の取組紹介

③ 交流会

(I) 企画運営会議

日 時：令和8年2月2日（月）14:00～16:00

会 場：ホテルプラザ菜の花（あやめ）

内 容：

- ・令和7年度活動報告、令和8年度活動方針（案）について
- ・意見交換
- ・その他（情報提供など）

(オ) Greater Tokyo Biocommunity (G T B)

G T B のバイオイノベーション推進拠点である「千葉・かずさエリア」の窓口機関として、実務者会議及び総会に出席し、情報収集及びエリア内の取組の情報発信を行った。

① 第8回実務者会議

日 時：令和7年7月8日（火）15:45～17:30

会 場：三井リンクラボ新木場2（オンライン併用）

② 第9回総会

日 時：令和7年9月8日（月）14:30～16:30

会 場：ステーションコンファレンス東京（オンライン併用）

③ 第9回実務者会議

日 時：令和8年1月19日（月）15:00～16:30

会 場：かずさアカデミアホール（オンライン併用）

※千葉・かずさエリアの代表施設として、N I T E バイオテクノロジーセンター、かずさDNA研究所の見学を実施した。

④ 第10回総会

日 時：令和8年3月27日（金）14:30～16:30

会 場：ステーションコンファレンス東京（オンライン併用）

⑤ その他

エリア紹介資料の更新（G T B ホームページ等で公開）

G T B ホームページ：<https://gtb.jba.or.jp/>

(カ) 外部ネットワーク等との連携の強化

その他、バイオ産業支援機関ネットワーク会議（事務局：（公財）木原記念横浜生命科学振興財団）等に参加し、バイオエコノミー社会の実現に向けた基盤戦略である「バイオエコノミー戦略」や関係省庁の施策、各支援機関による支援事例等に関する情報収集及び情報交換を行った。

(キ) その他

① 会員相互の情報交換の促進

本会議のメーリングリストやホームページを活用して、会員の主催するイベント等の情報発信を行った。

② 会員情報の整理

会員の連絡先について、更新を行った。

③ バイオ・ライフサイエンス分野に関する県庁内連絡会議への周知

本ネットワーク会議主催の総会・事例報告会、セミナーの情報周知を行った。

(2) 共同研究プロジェクトの創出に向けた取組

ア 方針

○新たなプロジェクト創出のため、県内大学・研究機関のシーズと企業ニーズの探索に努める。

○共同研究プロジェクトの創出に向け、情報交換の場を設ける。

イ 具体的な取組

○セミナーの開催

キッコーマンバイオケミファ(株)、(株)ファーマンステーション、Green Earth Institute(株)、(独法)製品評価技術基盤機構及び千葉県と連携し、「発酵から新たなバイオものづくり産業へ」をテーマに、バイオものづくりに係る講義と交流会を行った。